

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成2024」活動報告書

活動名	TeToTe—ひとり親支援プロジェクト—
団体名	NPO 法人ただいま
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	今回のプロジェクトを開催するにあたり、市の子ども政策課、子ども未来課・家庭児童相談室、生活支援課にチラシを置き、必要な方へとお知らせをしていただいたところ、ひとり親世帯等で新たにつながった家庭が 15 世帯ほどありました。とくに、家庭児童相談室からつながった家庭は、車がない家庭が多く、7 世帯ほど配達も行いました。市内には困窮世帯への支援を行っている団体がほかにはないため、継続する必要性を感じています。
この活動の目的（※）	生活苦で子育てに疲弊をしている家庭へ、月に一度は夕飯の総菜を届け、少しホッとする時間を提供すること
活動の対象（※）	ひとり親世帯、多子世帯、準要保護世帯、離婚調停中の世帯等
実施内容	月に 2 回金曜日の 17 時～19 時に開催。調理師およびボランティアスタッフが作った総菜を 10 世帯分ずつ用意して配布を行いました。
活動実施後の成果	毎回、取りに来られた方やお届けに伺った方と話をすることができました。「今日は夕飯を考えなくていいんだと思うと本当にありがたいです」と疲れた顔の中にも笑顔が見られることも。お惣菜をタッパーに入れてお渡ししているため、次に来られた際には、空になったタッパーを持参されて「美味しかったです」などと感想がいただけるため、ボランティアスタッフもやりがいを感じていました。
今後の展望や新たに増えてきた地域課題	公式ラインでお知らせをすると、10 世帯分の予約が 5、6 分で埋まってしまうこと、また月 2 回では 20 世帯分しかカバーできず、現在 35 世帯とのつながりができているため、こぼれている家庭がいることを考えると、ボランティアの活動では限界がある、ということがわかりました。 産後 2 週間で乳児を抱えながら取りに来られたシングルマザーもいたため、必要な支援だと思うので、今後どうしたら継続できるのかを考えたいです。
子ども食堂応援定期貯金預金者への一言（※）	この度は、ご支援有難うございました。金曜日の夕方にシングルマザーへの手作り総菜配布ができ、皆さんとても助かっているとされていました。少しホッとする時間を提供できたのではないかなと思います。
自己評価（いずれかに○を記入）	A. 目標を超える成果を得ることができた B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援成」活動報告書

	D. その他 （事業計画の段階では、冊子を作り、企業を回って支援をお願いする予定でしたが、そこまではできなかったので、今後そういった動きをしていき、活動が途切れないようにしていけたらと考えています）
自己評価で C を記入された場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。